

平成 2 8 年度

第 7 回大分県教育委員会 議事録

日 時 平成 2 8 年 7 月 5 日 (火)

開会 1 3 時 3 5 分 閉会 1 4 時 1 5 分

場 所 教育委員室

平成 2 8 年度
第 7 回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第 1 号議案 教職員の懲戒処分について

(2) 報 告

平成 2 8 年度大分県学力定着状況調査の結果について

平成 2 8 年度大分県高校生ものづくりコンテスト等の結果について

(3) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委員	林 浩 昭
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	松 田 順 子
	委員	首 藤 照 美
	委員	高 橋 幹 雄

欠席委員なし

事務局	教育次長	宮 迫 敏 郎
	教育次長	岩 武 茂 代
	教育次長	木 津 博 文
	参事監兼教育財務課長	森 崎 純 次
	教育改革・企画課長	能 見 駿一郎
	教育人事課長	藤 本 哲 弘
	福利課長	中 村 均 子
	義務教育課長	米 持 武 彦
	生徒指導推進室室長補佐（総括）	真 砂 昌 史
	特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	高校教育課長	姫 野 秀 樹
	社会教育課長	曾根崎 靖
	人権・同和教育課長	甲 斐 順 治
	文化課長	佐 藤 晃 洋
	体育保健課長	井 上 倫 明
	屋内スポーツ施設建設推進室長	山 上 啓 輔
	教育改革・企画課主幹	伊 藤 功 二
	教育改革・企画課主査	石 丸 一 輝

2 傍聴人

5 名

開会・点呼

(工藤教育長)

それでは、委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成28年度 第7回教育委員会会議を開きます。

署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名委員でございますが、高橋委員にお願いしたいと思っております。

会期の決定

(工藤教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。
会議の終了は14時15分を予定しています。
よろしく申し上げます。

議 事

(工藤教育長)

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議を公開しないことについてお諮りします。

第1号議案については、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて委員の皆さんにお諮りいたします。

公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

それでは、第1号議案については、非公開といたします。

本日の議事進行は、はじめに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【報 告】

平成28年度大分県学力定着状況調査の結果について

(工藤教育長)

それでは、報告第1号「平成28年度大分県学力定着状況調査の結果について」米持義務教育課長から報告いたします。

(米持義務教育課長)

本年4月14日(木)に実施しました県学力定着状況調査結果につきまして、国立、県立、私立学校を除く市町村立学校の結果が第一報として届きましたので、報告いたします。

本調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証サイクルを確立すること、並びに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることにあります。

調査の対象学年は、小学校5年生、中学校2年生です。調査対象の教科は、小5は国語、算数、理科の3教科、中2は国語、数学、理科、英語の4教科です。平成25年度から、全国学力・学習状況調査にあわせて「知識」と「活用」をそれぞれの教科で問うようにしています。

1ページをご覧ください。小学校は、全ての教科で偏差値50を超えることができました。これは平成25年度から4年連続となります。これに対して、中学校では、国語の知識、数学、理科、英語の活用は偏差値50を超えることができましたが、国語の活用、英語の知識については、2年連続で偏差値50に届きませんでした。

全ての教科で偏差値50を超えた学校は、小学校261校中127校です。前年度が118校でしたので、9校増えました。中学校は124校中27校が全ての教科で偏差値50を超えました。前年度が30校でしたので、マイナス3校となります。

2 ページ及び3 ページをご覧ください。平成20年度以降の偏差値平均の推移とこれまでの学力向上対策をまとめています。2 ページが小学校、3 ページが中学校です。平成24年度までの県調査は基礎基本の定着状況調査でしたので、平成25年度以降は各教科の「知識」の偏差値を示しています。小学校は偏差値が年々上昇し、今年度は3教科とも過去最高の数値です。他方、中学校は、国語が年々確実に偏差値が上昇していますが、他の教科は不安定です。特に数学は偏差値50は超えていますが、下降傾向にあります。

数学については、昨年度の全国学力・学習状況調査においても全国平均正答率との差が大きく、3年間連続して全国平均を超えていない中学校に対して、本庁及び教育事務所の指導主事による学校訪問等で個別に指導するなど取組を進め、当該学校や市町村にも努力いただいておりますが、まだまだ目に見える改善には至っていません。

現在、各中学校では、今年2月に提示しました「中学校学力向上対策3つの提言」を推進し、組織的な授業改善等を進めている途上です。8月に公表される全国調査の結果も踏まえ、緊急な対応が必要なものについては対策を明確にして取り組んでまいります。中学校の改善は全体的には進みが遅いのですが、そのような中でも別府市、由布市、佐伯市の3市は小学校5年生当時に比べ、全ての教科区分において偏差値が上昇しています。その要因を明らかにすることにも改善の糸口があると考えています。

次に、4ページの表、市町村ごとの結果をご覧ください。町村内に1校しかない姫島村、九重町の中学校については、数値を公表していません。着色している枠は偏差値50を超えている教科区分です。

小学校では、姫島村を除く17市町中15の市町が全ての教科区分で偏差値50を超えています。前年度が10市町でしたので、5市町の増となっています。中学校では、偏差値50に到達していない教科を有する市町村が多く、姫島村、九重町を除く16市町中、全ての教科で偏差値50を超えているのは国東市と竹田市の2市です。昨年度は3市町でしたので、1市町の減となっています。

中学校国語につきましては、同一教科において、知識・活用の差が大きいことから、単元を通して行う問題解決的な展開の授業のさらなる充実が求められます。英語につきましても、前年度とほとんど変わらない状況であり、依然、対策の強化が必要です。

今後も、これまで同様、中学校の学力向上に重点をおいて取組を進めてまいります。特に、中学校における学校間格差の原因を授業改善の

進捗状況から究明し、その対策を講じていくことが課題です。課題解決に向け、市町村教育委員会と連携し、伸び悩んでいる学校の現状をまず把握してまいります。その上で、「新大分スタンダード」に基づく授業改善が全教科の全教員で行われるよう働きかけてまいります。

具体的には、一つは「中学校学力向上対策3つの提言」の推進です。現在、取組状況を調査していますので、その結果を踏まえ、提言を具現化する学校の支援をしてまいります。また、国語、社会、数学、英語、理科については、中学校教科指導力向上協議会を行っています。すでに、第1回の文部科学省教科調査官等による講演・講義を終えた教科もありますが、理科を除く各教科は、第2回として県内16各地区で、地域の実情に応じた実践的な研修を行う予定です。さらに、生徒指導の3機能を生かした授業や特別活動を充実させることで生徒の学習意欲に働きかける「学びに向かう学校づくり」も引き続き進めてまいります。

本調査の詳細なデータは8月初旬に届きますが、そのデータ及び8月下旬に公表される全国学力・学習状況調査結果も踏まえ、9月16日に予定しております第1回学力向上検証会議で、具体的な改善方針等を提案してまいります。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(林職務代理者)

小学校では、改善が進んでいるということで、よかったと思います。中学校でも頑張っていらっしゃると思いますが、なかなか結果が上がっていかないことに対して、現場の先生方に焦りのようなものはないのでしょうか。先生方の危機感といいますか、先生方の考え方、現場の雰囲気というものはいかがでしょうか。

(米持義務教育課長)

お会いする先生に聞く限りでは、頑張っている、工夫しているということでしたので、授業改善の動きはあると思います。しかしながら、昨年度1月に行った「新大分スタンダード」の取組状況調査の結果では、小学校に比べ、5ポイントから10ポイント程度中学校が低いという結果が出ています。分かりやすい例で言いますと、全国学力・学習状況調査の問題を実際に解いた教員の割合が小学校は80%を超えるのに対し、中学校は63%というように、具体的な取組が遅れているというこ

とはあると思います。

(岩崎委員)

中学校2年生の状況が従前と変わらないということですが、その原因をどのように捉えるかが問題だと思います。先ほどの話では、先生方の授業力の問題ということで、個別の対応もしているということですが、学校間にも格差があるということでした。各学校への先生の配置は、基本的には市町村教育委員会の考えに基づいて行われていると思いますが、能力や授業力のある先生の組み合わせで学校間格差を縮めることについて、市町村教育委員会に働きかけることはありますか。

(米持義務教育課長)

全県的なことについては詳しく分かりませんが、昨年度まで教育事務所の所長をしておりましたので、市の状況を申し上げますと、昨年度は県教育委員会の指導もあり、先生の配置と学力調査の結果がようやく結びついて見えたということがありますので、そこは考慮するようになったと認識しています。ただ、教科指導と生徒指導の力量が必ずしも一致しないということもあり、今後は市町村教育委員会と教育事務所が連携し、工夫していかなければならないのではないかと考えています。

(岩崎委員)

先ほど「新大分スタンダード」の取組状況が報告され、中学校では全国学力・学習状況調査の問題を63%の先生しか解いていないということでした。この調査の問題は、全国的にどういうことが問題として考えられているのか、国はどのような力をつけてほしいと考えているのかなど、授業力を高めるポイントを理解する助けにもなると思います。63%という数は少なすぎると思われますが、いかがですか。また、少なすぎるとすれば、これを改善することに関しては、どこが指導等を行うのでしょうか。市町村教育委員会が行うものですか、それとも教育事務所単位で行ったり、県教育委員会が市町村教育委員会とタイアップして行ったりするものですか。

(米持義務教育課長)

二つ申し上げます。一つは、先ほど63%と申し上げましたが、これは家庭科や音楽の教員も含めている数値です。国語や数学の問題といえども、全教科の先生が解くべきだということで、全教員を対象としています。そういう意味では多いのか少ないのか分かりませんが、課題に基づいて全ての教員が自分の立場でできることをすべきであり、例えば、説明したり書いたりすることは国語や数学のみで行うべきものではないと思いますので、ここで数値としてあげさせていただきました。

もう一つは、県教育委員会の方が行き届いていなかったことですが、16地区に教科部会というものがあります。そこと本庁の教科担当指導主事が連携できていたかということ、それは十分でなかったという反省です。本年度からは、国・社・数・英の各部会に、最低1回は指導に入れるように各市町村教育委員会にお願いしましたので、今年度は直接行う指導が可能になっています。

(岩崎委員)

一点危惧していることがあります。ややもすると、点数だけ上げればいいのかというような批判が学校現場にあるのではないかとことです。私としましては、保護者の方々から児童生徒の教育を任されているのですから、全国レベルの学力をつけることが学校の先生の職務として大事ではないか、それなりの結果が必要ではないかと思っています。危惧しているような雰囲気があるのかどうかということについて、いかがでしょうか。

(米持義務教育課長)

県議会において、そのようなご指摘があったことは承知していますが、私が各学校を回る限りでは、逆に先生たちの方が少しでも点を上げたいと思っているという話を聞きます。それはある意味ではプレッシャーになっているのかもしれませんが、市町村教育委員会あるいは校長からプレッシャーをかけられているという印象はもっていません。

(松田委員)

現場の先生と話をする中で、小学校は先生方がまとまって指導しやすいけれど、規模の大きな中学校では、成績が上の子はいいのだけれど、下の子が多いので平均点が低くなる、小規模校のようには上がらないというようなことを聞きました。以前、タテ持ちについての説明がありましたが、そのときに大規模校と小規模校で差があるのか、先生方の数と生徒の数に関連があるのか、そこはまだ分からないのでしょうか。

(米持義務教育課長)

県内には小規模校が多いという前提で申し上げますと、タテ持ちは当然行われています。例えば、各学年1クラスしかない学校では、数学の先生が全てのクラスの授業を一人でやっているわけですが、その先生に力量がある場合は当然成果が出てきますし、そうでない場合は、なかなか難しい状況があります。そこで、近隣の小規模校同士での合同教科部会を進めようとしているところですが、まだまだ成果が出るという段階ではありません。

(首藤委員)

なかなか難しいのですが、全教科・全教員での取組を進めるためにも、より一層先生方に響くようなテスト結果の分析というようなものが必要ではないかと思います。そうしますと、県教育委員会が行う調査ですから、社会科を入れるということではできないでしょうか。

(米持義務教育課長)

引き継いだ話によりますと、昨年度も社会科を導入しようとする動きはあったようですが、時期尚早ということで入れられなかったということ聞いています。

(首藤委員)

どの教科も授業改善をしていかなければいけない、そうしなければ成果は出ないということを書いていかなければいけないと思います。私は、授業改善をしたら必ず結果として表れると思っていますが、逆は必ずしも真ではなくて、成績が上がったからといっても授業改善が進んでいるのかというと、そうは言えないこともあると思います。成績を上げるだけなら、類似問題をたくさんさせて、問題に慣れさせるという方法も一つあると思いますし、そうってしまったのでは、テストの結果に直結させて発破をかけても限界があると思いますので、状況をより幅広く、正確に分析をしながら、県もやっているのだということを示すためにも、高校入試と直結させて、学力調査に社会科を導入することを検討していただきたいと思います。

平成28年度大分県高校生ものづくりコンテスト等の結果について

(工藤教育長)

次に、報告第2号「平成28年度大分県高校生ものづくりコンテスト等の結果について」姫野高校教育課長から報告いたします。

(姫野高校教育課長)

平成28年度大分県高校生ものづくりコンテスト及び大分県学校農業クラブ大会の結果を報告いたします。

資料1ページをご覧ください。大分県高校生ものづくりコンテストは6月10日(金)に大分工業高校において、工業系高校9校の生徒が参加し、旋盤作業、電気工事、電子回路組立、木材加工、化学分析、測量の6部門で実施されました。2ページに競技概要を記載しています。生徒は、2時間30分の競技時間、汗を流しながら集中力を切らさずに一生懸命に取り組んでいました。

3ページに大会結果をまとめています。各部門の最優秀賞に輝いた生

徒は、7月9日、10日に鹿児島県で開催される九州大会に大分県代表として出場します。九州大会で最優秀になれば、全国大会に出場します。昨年度は、電気工事部門で大分工業高校、電子回路組立部門で鶴崎工業高校が全国最優秀賞に輝いていますので、生徒たちはそれに続けと頑張っています。

続きまして、4ページをご覧ください。大分県学校農業クラブ大会の結果について報告いたします。

6月23日(木)にホルトホール大分において、農業系学科を設置する高校9校が参加して実施されました。実施した競技種目は、日頃の研究成果をパソコンなどの視聴覚機器を活用して発表するプロジェクト発表と身近な課題や将来の抱負などを発表する意見発表です。

5ページをご覧ください。上段の表に競技内容を記載しています。下の表は、県大会の最優秀校を記載しています。表にあります分類は、類が生産・流通・経営、類が開発・保全・創造、類がヒューマンサービスとなっています。プロジェクト発表の類の玖珠美山高校のパークマット及び類の大分東高校のリボンベジタブルについては、5月10日の教育委員会会議で報告いたしました。類の大分東高校の発表は、ニラの栽培農家と連携してオリジナルのニラ麺の開発を行ったというものです。意見発表につきましては、「和牛繁殖農家の4代目としての決意」などが最優秀を獲得しています。

6ページに大会の結果をまとめています。各部門の最優秀賞者は、8月9日(火)、10日(水)に鹿児島県で開催される九州大会に大分県代表として出場し、そこで最優秀賞を獲得できれば、全国大会に出場します。昨年度の全国大会では、プロジェクト発表部門において、玖珠美山高校が優秀賞に輝いています。

現在、九州大会に出場する工業科と農業科の生徒たちは、全国大会出場を目指して、毎日遅くまで練習に頑張っているところです。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(林職務代理者)

ものづくりコンテストとロボットコンテストは別のものでしょうか。

(姫野高校教育課長)

ものづくりコンテストは生徒の技術力を競うもので、将来のものづくりを担う人材の育成のために実施されているものです。ロボットコンテストは別に大会があり、主に部活動でロボット製作や練習などに取り組

んでいます。

(林職務代理者)

ものづくりコンテストは授業の中で行われているのですか。

(姫野高校教育課長)

授業で学んだ技術や技能を競い合うものです。

(高橋委員)

ものづくり大国である日本にとっては、このような大会は非常に大切だと思います。九州大会や全国大会の出場にあたって、支援は十分に行き届いているのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

工業系については、地域の企業の技術者の方から高いスキルを学ぶ実技指導や講演会を行っています。また、農業系についても、地域の農家などと連携して体験学習等を通してスキルを向上させる取組を行っています。

(高橋委員)

九州大会や全国大会へ行くまでの支援は行われていますか。

(姫野高校教育課長)

技術的なバックアップに特化して行っています。

(高橋委員)

行くまでも大変ですので、技術指導以外の面でもバックアップをしていただければと思います。

(林職務代理者)

資料3ページの「参加者の内訳」に「来賓・審査員」とありますが、地元の農業者の方や中小企業の方が見に来たりしているのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

ものづくりコンテストについては、地元企業の方や日頃から地域に根ざした活動をしている方を中心に審査員をお願いしています。また、農業クラブの審査員については、県農林水産部の方が中心となっています。

(林職務代理者)

企業的な農業を行っている方のなかには、高校生を受け入れたいと思

っている方もいると思いますので、幅広い方々に見ていただくと高校生の活動もさらに広がっていくと思います。ぜひ接点を作っていただければと思います。

(松田委員)

生徒たちが持っている能力が発揮されることは素晴らしいと思います。九州の中では、どこの県がものづくりの技術が高いのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

昨年度の九州大会の結果は8部門中、大分県が3部門で最優秀、佐賀県、熊本県、長崎県がそれぞれ2部門で最優秀でした。大分県はものづくりに関しては九州で上位となっています。

(松田委員)

大分県はとても頑張っていると思います。

(工藤教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います、その前に、公開でその他、何かございませんか。

では、先に非公開と決定しました議事を行いますので、関係課室長のみ在室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

(関係課以外及び傍聴人退出)

【議案】

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(工藤教育長)

それでは、第1号議案「教職員の懲戒処分について」提案しますので、藤本教育人事課長から説明いたします。

(説明)

(工藤教育長)

ただ今、説明のありました議案について審議を行います。ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。第1号議案について承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第1号議案については、提案どおり承認します。

(工藤教育長)

それでは、最後にその他、何かございませんか。
ないようですので、これで平成28年度第7回教育委員会会議を閉会します。

お疲れ様でした。

平成28年度第7回大分県教育委員会会議次第

日時 平成28年7月5日(火)

13:35～14:15

場所 教育委員室

1 開 会

2 署名委員の指名

3 議 題

(1) 議 案

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(2) 報 告

平成28年度大分県学力定着状況調査の結果について

平成28年度大分県高校生ものづくりコンテスト等の結果について

(3) その他

4 閉 会

平成28年度 大分県学力定着状況調査結果 速報

資料1

調査の概要

大分県教育庁 義務教育課

- 1 調査期日 平成28年4月14日(木)
- 2 調査を実施した児童・生徒数(学校数) **国県私立校を含む全校**
 小学校5年生 9,555人(265校)
 中学校2年生 9,823人(132校)
- 3 調査方法 全国学力・学習状況調査にあわせ「知識」と「活用」をそれぞれの教科で問う。

結果の概要

【教科別偏差値平均(市町村立学校のみ)】

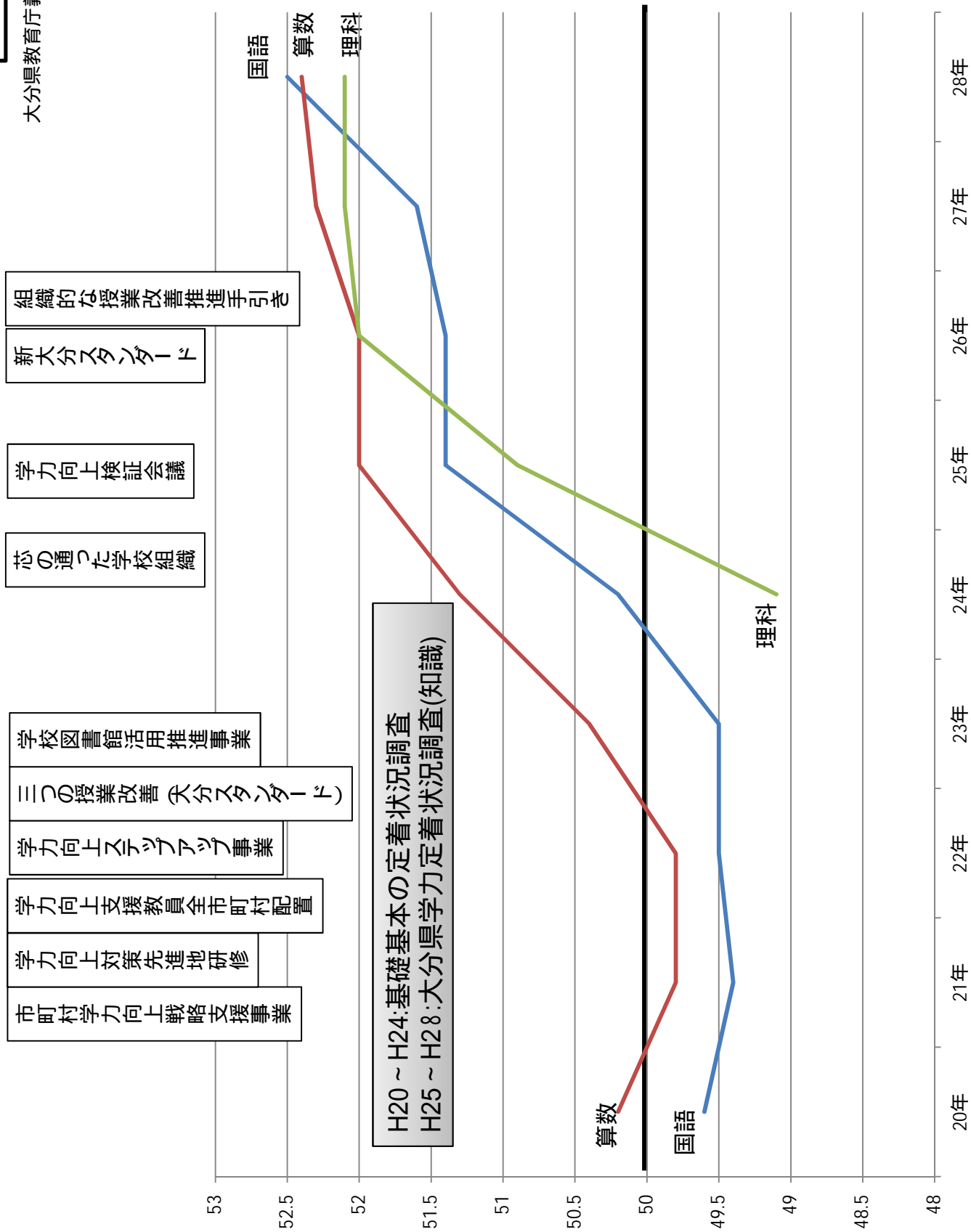
	小学校5年生						全ての教科において 偏差値50を超えた市町村立学校
	国語		算数		理科		
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	
H28	52.5	51.6	52.4	52.4	52.1	51.1	127校/261校
H27	51.6	50.5	52.3	52.4	52.1	51.3	118校/271校
参考：H26 133校/275校							48.4%

	中学校2年生						全ての教科において 偏差値50を超えた市町村立学校
	国語		数学		理科		
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	
H28	51.3	49.8	50.3	50.4	51.4	50.6	27校/124校
H27	51.0	49.4	51.0	50.5	50.6	50.5	30校/126校
参考：H26 38校/127校							29.9%

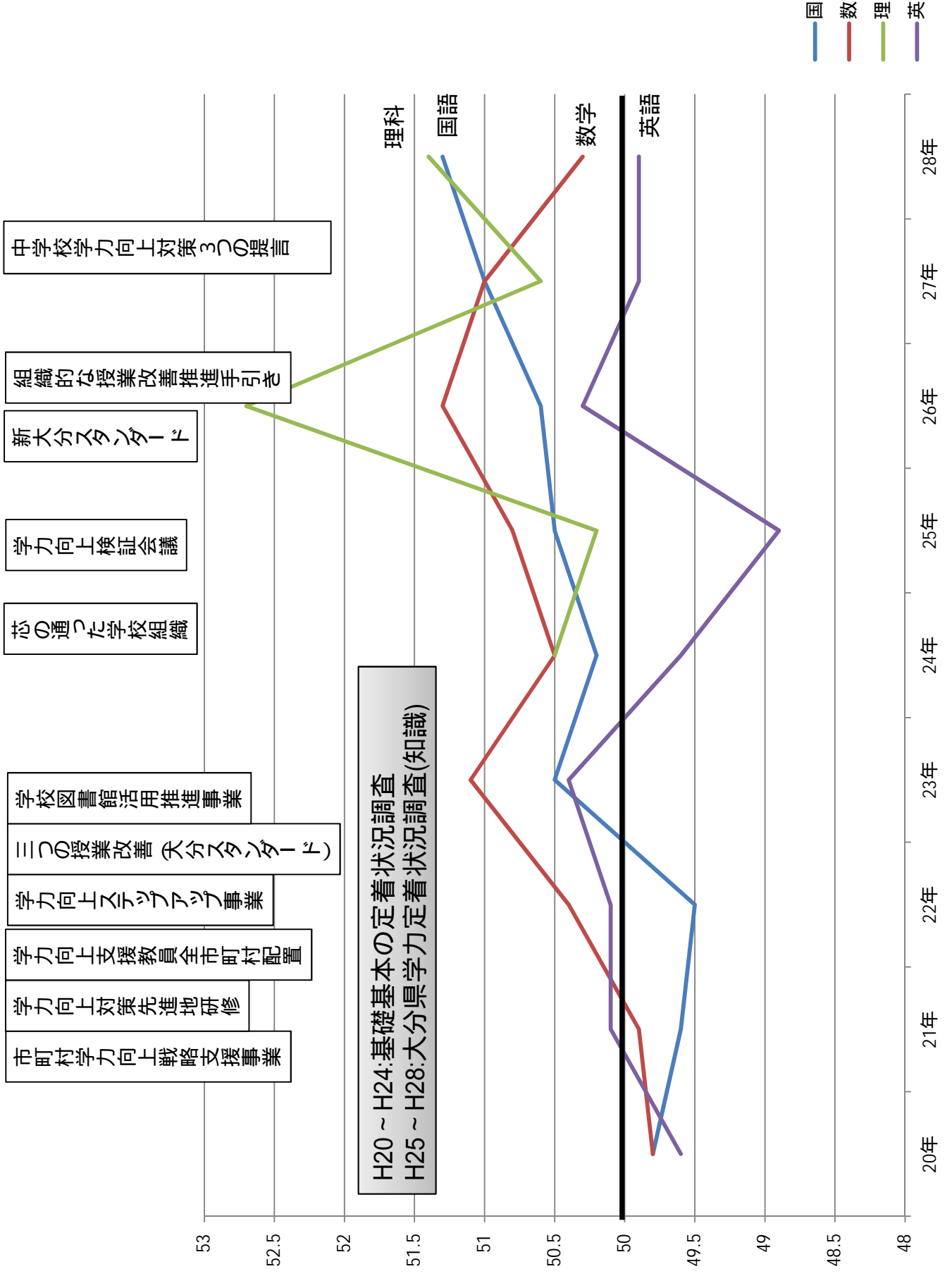
小学校5年生偏差値平均の推移(H20～H28)

資料2

大分県教育庁義務教育課



中学校2年生偏差値平均の推移(H20～H28)



平成28年度 大分県 学力定着状況調査 市町村別偏差値平均一覧

資料3

大分県教育庁 義務教育課

・着色は偏差値50を超えた教科区分
 ・姫島村は小学校1校・中学校1校、九重町は中学校1校で、町村の数値がそのまま学校の数値となるため、公表しない

	小学校						中学校							
	国語		算数		理科		国語		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
中津市	51.0	50.2	50.8	50.2	50.2	48.0	50.5	48.7	49.4	49.6	51.4	50.2	49.6	49.8
豊後高田市	54.7	52.6	54.9	53.0	55.1	53.1	51.0	48.7	50.5	50.3	50.7	50.4	49.5	49.9
宇佐市	54.2	52.4	54.8	53.5	53.6	52.9	51.1	51.1	51.3	51.3	51.1	51.0	49.6	49.9
杵築市	53.8	53.9	55.0	52.9	53.5	53.2	49.7	49.7	51.3	51.3	53.0	51.2	49.2	49.7
別府市	51.8	51.3	51.5	51.2	51.1	50.3	49.9	49.9	51.2	51.4	52.5	51.0	50.6	50.4
姫島村														
国東市	50.6	50.5	52.1	50.5	51.6	51.0	50.6	50.6	51.3	52.1	52.1	51.7	51.4	52.2
日出町	54.1	53.8	55.3	55.1	53.5	51.5	49.7	49.7	50.8	49.2	50.4	49.3	49.5	49.2
大分市	52.5	51.7	52.1	52.6	52.5	51.3	50.1	50.1	50.0	50.1	51.1	50.5	49.7	50.2
臼杵市	53.0	52.2	53.1	53.0	52.0	52.9	48.8	48.8	48.7	50.2	49.7	50.0	49.3	49.7
津久見市	52.3	52.6	54.1	53.5	50.2	50.6	49.8	49.8	51.4	51.4	50.7	49.8	50.8	52.3
由布市	51.8	50.1	51.3	51.4	50.4	48.5	49.6	48.6	49.6	49.8	50.5	49.7	49.7	50.3
佐伯市	52.0	51.4	52.3	51.6	51.9	50.6	51.3	49.5	50.7	50.7	53.1	52.0	50.4	50.8
竹田市	51.6	51.3	52.5	51.9	51.6	50.8	52.4	50.9	52.7	51.9	52.8	51.0	51.8	52.5
豊後大野市	52.4	51.3	53.3	53.0	50.8	51.0	48.9	48.9	49.4	50.0	50.4	50.3	50.2	50.4
日田市	52.6	51.3	52.5	52.6	52.4	52.3	52.4	50.1	50.0	51.0	51.7	50.5	50.6	49.8
玖珠町	54.4	52.2	57.0	54.7	52.5	52.7	50.1	49.0	49.6	49.6	47.9	48.4	46.7	47.5
九重町	53.6	51.1	52.5	52.2	52.3	52.9								
市町村立学校	52.5	51.6	52.4	52.4	52.1	51.1	51.3	49.8	50.3	50.4	51.4	50.6	49.9	50.2

大分県高校生ものづくりコンテスト

開催日：平成28年6月10日(金)

会場：大分工業高等学校

大会風景



【旋盤作業】



【電気工事】



【電子回路組立】



【木材加工】



【化学分析】



【測量】

高校生ものづくりコンテスト 競技概要

旋盤作業

鋼材の丸棒を旋盤で削り、製作図に描かれた機械の部品を作成し、寸法精度・仕上がり程度や完成度などを競う。

標準時間 2時間00分 打ち切り時間 2時間30分

電気工事

電気工事士技能試験に準じた屋内配線工事を行い、器具の取り付け方・接合器具や寸法の正確さなどを競う。

競技時間 2時間30分

電子回路組立

「制御プログラム」をプログラムすることにより目的の動作をするシステムを完成させ、プログラミング技術・組み立て技術や設計力を競う。

競技時間 2時間30分

化学分析

試料水中に含まれているCa(カルシウム)とMg(マグネシウム)の量から、その水の硬度を求める競技。測定結果の正確さや技術度等を競う。

競技時間 2時間30分

木材加工

支給された角材に墨付けや加工を行い、屋根の小屋組みの一部分を製作し、作業状況・組立て状態や完成度などを競う。

作業時間 2時間30分

測量

5角形の各辺の距離と角度の測定を行い、測定時間の早さや、規定の成果に対し計算結果をまとめることを競う。(雨天時は、内業競技のみとする)

外業：競技時間37分 内業：競技時間25分

自動車整備

課題 「学科」、課題 「測定作業」、課題 「定期点検車両取扱い作業」、課題 「エンジン故障探求作業」について、課題 は正答数、課題 ~ は、完成度、技術度、マナー・態度が審査され、合計得点で競う。

競技時間 課題 ~ : 各25分(合計1時間)

家具工芸

図面に示された競技課題にしたがって、支給された材料(木材)を加工し課題を製作する。作業状況・手順や仕口ごとの加工精度・完成度などを競う。

作業時間 2時間30分

平成28年度 大分県高校生ものづくりコンテストの結果について(報告)

1. 行事名 大分県高校生ものづくりコンテスト
2. 主催 大分県教育委員会・大分県高等学校教育研究会工業部会
4. 開催日 平成28年6月10日(金)
5. 会場 大分県立大分工業高等学校
6. 参加者の内訳 生徒 118名・引率者 40名・役員 73名 来賓・審査員 18名 (計 249名)
7. 大会結果

旋盤作業部門				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	日田林工	機械	3	梅木 敦士(ウメキ アツシ)
優秀賞	大分工業	機械	2	麻生 大揮 (アソウ ヒロキ)
優良賞	津久見	生産機械	3	神河 翔吾(カミカワ ショウゴ)

電気工事部門				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	日田林工	電気	3	長尾 一葵(ナガオ カズキ)
優秀賞	大分工業	電気	3	野中 涼雅 (ノナカ リョウガ)
優良賞	津久見	電気電子	3	森口 瑞生 (モリグチ ミズキ)

電子回路組立部門				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	鶴崎工業	電気	3	宮崎 恭寛(ミヤザキ タカヒロ)
優秀賞	鶴崎工業	電気	2	左村 康暉(サムラ コウキ)
優良賞	日田林工	電気	3	秋好 翔太(アキヨシ ショウタ)

化学分析部門				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	大分工業	工業化学	2	兒玉 ひかり(コダマ ヒカリ)
優秀賞	大分工業	工業化学	2	崎山 実幸(サキヤマ ミユキ)
優良賞	大分工業	工業化学	2	松下 絢音(マツシタ アヤネ)

木材加工部門				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	鶴崎工業	建築	2	吉良 沙亜矢(キラ サアヤ)
優秀賞	鶴崎工業	建築	3	安達 美奈(アダチ ミナ)
優良賞	日田林工	建築土木	3	武内 ことり(タケウチ コトリ)

測量部門					
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)	チーム
最優秀賞	佐伯豊南	工業技術	3	徳丸 博也 (トクマル ヒロヤ)	A
			3	鳴海 将輝知 (ナルミ ショウキチ)	
			3	高治 朋広 (タカジ トモヒロ)	
優秀賞	佐伯豊南	工業技術	2	内山田 光 史 (ウチヤマダ コウシ)	B
			2	岡 野 蒼 生 (オカノ アオイ)	
			2	疋 田 恭太郎 (ヒキタ キョウタロウ)	
優良賞	日田林工	建築土木	2	櫻木 妃奈丹(サクラギ ヒナタ)	B
			2	高倉 稜介(タカクラ リョウスケ)	
			2	佐藤 直樹(サトウ ナオキ)	

各部門で最優秀賞を受賞した生徒またはチームは、7月9日(土)・10日(日)に鹿児島県で開催される第15回高校生ものづくりコンテスト九州大会に大分県代表として出場します。

大分県学校農業クラブ大会

開催日：平成28年6月23日（木）

会 場：ホルトホール大分

大会風景



「パークを利用した循環型農業の展開」



「ニラ麺の開発」



「リポーンベジタブル」

【プロジェクト発表】



【意見発表】

学校農業クラブ活動の主な大会内容

学校農業クラブ活動は、高等学校教育課程の農業の教科に位置付けられ、農業で学習したことを実践することにより、将来の農業自営者や農業技術者になるための実践的・指導的な能力を養う活動。

	競技種目	競技内容	九州大会及び 全国大会出場資格
発表競技	プロジェクト発表会 (チーム制10名以内) 類(生産・流通・経営) 類(開発・保全・創造) 類(ヒューマンサービス) の3分野がある。	日頃の研究成果をパソコンやプロジェクターなどの視聴覚機器を使って10分間で発表する。記録簿や発表内容、態度等を競う競技。	 ・九州大会 各県大会の最優秀校 ・全国大会 全国9地区大会の最優秀校
	意見発表競技会 (弁論大会のようなもの) 類(生産・流通・経営) 類(開発・保全・創造) 類(ヒューマンサービス) の3分野がある。	身近な課題や将来の抱負などについて7分間で発表する。	 ・九州大会 各県大会の最優秀校 ・全国大会 全国9地区大会の最優秀校

H28 県大会「プロジェクト発表」最優秀校の研究テーマ要旨

- 類 : 玖珠美山 (杉皮バークを利用した循環型農業の展開)
 類 : 大分東 (市内特産のニラを使用したオリジナルのニラ麺の開発)
 類 : 大分東 (「リボンベジタブル」野菜の切れ端を活用した食育活動)

H28 県大会「意見発表」最優秀校の研究テーマ要旨

- 類 : 玖珠美山 (和牛繁殖農家の4代目としての決意)
 類 : 三重総合 (夢見る農業女子～農業機械のオペレーターを目指して～)
 類 : 日出総合 (つげ工芸に魅せられて～原材料確保のための活動～)

九州大会及び全国大会の日程・開催場所

大会名	日程	開催場所
九州大会	平成28年8月9日(火) ～10日(水)	鹿児島県いちき串木野市 いちきアクアホール他
全国大会	平成28年10月26日(水) ～27日(木)	大阪府堺市他

平成28年度 第63回 大分県学校農業クラブ大会(発表競技部門)の結果について(報告)

1. 行事名 第63回大分県学校農業クラブ大会(プロジェクト・意見発表)
2. 主催 大分県学校農業クラブ連盟(共催:大分県教育委員会・大分県高等学校文化連盟)
4. 開催日 平成28年6月23日(木)
5. 会場 ホルトホール大分
6. 参加者 選手 73名(農業系設置校9校)
7. 大会結果

プロジェクト発表

類(生産・流通・経営)				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	玖珠美山	地域産業	3	清原 陸 (キヨハラ リク)他8名
優秀賞	宇佐産業科学	グリーン環境	3	奥村 斗夢(オクムラ トム) 吉田 千尋(ヨシダ チヒロ)他5名
優良賞	国東	園芸ビジネス	3	笠置 友香(カサギ ユカ)
			2	川野 聖香(カワノ セイカ)他3名

類(開発・保全・創造)				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	大分東	園芸ビジネス	3	飛高 晃蔵(ヒダカ コウゾウ)他3名
優秀賞	日田林工	林業	2	陶山 大輝(スエヤマ ダイキ)他3名
優良賞	玖珠美山	地域産業	3	井 美奈子(イ ミナコ) 松方 伸里(マツカタ シンリ)他1名

類(ヒューマンサービス)				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	大分東	園芸デザイン	3	山下 菜奈美(ヤマシタ ナナミ) 山本 彩香(ヤマモト アヤカ)他4名
優秀賞	玖珠美山	地域産業	3	徳永 李奈(トクナガ リナ)他4名

意見発表

類(生産・流通・経営)				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	玖珠美山	地域産業	2	田中 夏珠(タナカ ナツミ)
優秀賞	宇佐産業科学	グリーン環境	2	恵良 祐月(エラ ユヅキ)
優良賞	三重総合	生物環境	2	佐藤 太一(サトウ タイチ)

類(開発・保全・創造)				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	三重総合	生物環境	3	佐藤 有菜(サトウ ユウナ)
優秀賞	大分東	園芸ビジネス	2	羽田野 桃香(ハダノ モモカ)
優良賞	宇佐産業科学	グリーン環境	2	片多 啓介(カタダ ケイスケ)

類(ヒューマンサービス)				
賞	学校名	学科名	学年	選手名(フリガナ)
最優秀賞	日出総合	農業経営	3	浦田 龍斗(ウラタ リュウト)
優秀賞	国東	園芸ビジネス	3	前原 明日香(マエハラ アスカ)
優良賞	日田林工	林業	3	佐藤 百々好(サトウ モモコ)

各部門で最優秀賞を受賞した生徒またはチームは、8月9日(火)・10日(水)に鹿児島県で開催される第59回九州学校農業クラブ連盟発表大会に大分県代表として出場します。